

**三芳小学校** 【開校】明治22年  
【校長】金子 睦



**藤久保小学校** 【開校】昭和45年  
【校長】渡邊 重樹



**上富小学校** 【開校】昭和47年  
【校長】大類 達也



**唐沢小学校** 【開校】昭和50年  
【校長】鈴木 恵



**竹間沢小学校** 【開校】昭和56年  
【校長】間中 千恵子



「学びに向かう力」を高められ、  
将来の夢と力を育める  
学校をめざして

開校137年目となる令和8年度は、337人の児童でスタート。学校教育目標「ルールを守る子、チームワークをつくる子、ベストをつくす子」実現のため、「まなびあい」の中で力を高める子の育成をめざします。

「まなびあい」を大切にしているのは、開校100年を記念して建てられた「まなびあい」の像に由来。像の台座には、「未来は君たちのものである。友を愛し、常に学び続けようとする強い心と正しいことをなすことばよとする勇氣をもつ」とあります。

今年度も、「学びに向かう力」である非認知能力「みよしの力」(「みんなでつながる力」「よりよく生きる力」「真剣に自分と向き合う力」)を育てられるよう、教職員一丸となって、学校づくりに励んでいきます。

「夢・未来」  
「挑戦するふじっ子」の育成

令和8年度、開校57年目を迎える本校は、学級数26学級、児童数722人でスタートしました。

今年度、いよいよ「三芳町未来創造拠点施設『ルミナみよし』」が供用開始となり、図書館や地域交流センター、子育てセンターなどを兼ね備えた複合施設としての新しい藤久保小学校が誕生します。

そこで、学校経営の基本理念として「夢・未来」を掲げ、挑戦する「ふじっ子」を掲げました。最先端の教育環境を十分に活用し、様々な課題解決に挑戦し続けていくことができる子どもたちを育成します。

誰一人取り残すことなく、全ての子どもたちの夢や未来の実現に向けて、教職員が一丸となり、保護者や地域の皆さんにお力添えをいただきながら、笑顔で活躍できる「ふじっ子」を育成するよう努めていきます。

「教師も児童も共に学び、  
保護者・地域から信頼される  
学校」をめざして

本校は、今年で開校55年目を迎えました。学校教育目標「伝えよう 自分をつなごう」とも「」のもと、今年度は目標実現の合言葉「学び合う 伝え合う 育ち合う」とめざし、教育活動を推進していきます。

学習面では、自分の考えをまとめる力を育むとともに、発信力を高め、プレゼンテーション能力の育成に重点的に取り組みます。

また、世界農業遺産に位置する学校として、地域との「つながり」を大切に継承しながら、体験活動の充実を図り、学級・縦割りグループ・家庭・地域が連携した教育活動を推進します。

今年度も「チーム上富」として課題を共有しながら、子どもたちのより良い成長に向けて取り組んでいきます。

直向きに伸びようとする  
子どもたちをサポートする学校

本校は、「よく考える子(ゆるぎない)」「思いやりのある子(ゆづり気)」「たくましい子(げん気)」を学校教育目標に、子どもたち一人一人のよさや可能性を見出すことができるよう教育活動を推進していきます。

また、学校教育目標を具体化し、「学びに向かう力」「積極性」「協働性」「共感性」を育てていく「自己効力感」を育てていくための授業や学校行事を通じて育んでいきます。

さらに、「唐フルキッズ」のよさや可能性を引き出すうえで、教職員の授業改善は不可欠です。今年度は「子どもを主語にした授業づくり」をテーマに校内研究を進め、教職員一同、「チーム唐沢」として、子どもの成長を支えていきます。

子どもも大人も 夢に向かって  
楽しく元気に学ぶ学校

本校は、「わかる」「できる」を大切にしたユニバーサルデザインを基盤とした学校づくりを進めていきます。

また、公民館と連携して、地域学校協働本部の研究を進めています。学校教育目標は、「思いやりのある子 自ら考える子 最後までがんばる子」としています。特に、互いのよさや違いを認め、特別支援学級「たけのこ」や通級指導教室も活用し、一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動を進め、子どもと保護者に寄り添う学校づくりを大切にします。そして、どの子どもも竹間沢小学校の子として大切に、偏見や差別をなくすための最大限の努力をしていきます。

また、「竹間沢小子ども教育宣言」を発信し、子どもたちの自立に向けて、教職員・保護者・地域が力を合わせて実践を重ねられるようにします。



町内小中学校の  
目標と取り組み

今年も  
がんばり  
ます

**三芳中学校** 【開校】昭和22年  
【校長】江原 誠



**三芳東中学校** 【開校】昭和52年  
【校長】唐松 善人



**藤久保中学校** 【開校】昭和59年  
【校長】菅谷 和孝



夢や目標を育み、実現に向けて  
生徒と共に歩む学校

本校は80年目を迎える歴史のある伝統校で、「継承の中の創造」のもと、伝統を継承しつつ、信頼される学校づくりを推進していきます。

今年度は、79人の新入生を迎え、全校生徒280人でスタート。学校教育目標「格好しい中学生」の実現に向け、教育活動を進めていきます。

また、学校経営方針を「生徒を主語にした学校経営」と定め、授業をはじめ、学校行事やその他の教育活動において意図的に生徒が主語となる活動場面を設けて、生徒の可能性を伸ばしていきます。

さらに、町の教育政策「MOVEプラン」を受けて、生徒の非認知能力の向上をめざした授業づくりを進め、生徒の学びに向かう力を育成し、学力の向上につなげていきます。

教育は生徒一人一人の  
未来づくり

本校の学校教育目標は、「心豊かな生徒」「意欲的に学ぶ生徒」「たくましく生きる生徒」です。

この学校教育目標の具現化を通して、生徒一人一人に学力や豊かな心、健康・体力をバランスよく育むとともに、生徒一人一人が中学校卒業後の未来に向けて夢や希望を持ち、その実現に向けて努力し続けることをめざします。

特に、授業や学校行事、委員会活動を通して、生徒一人一人が自ら課題を発見し、意欲的に解決していく能力を育むことを重視します。

本年度、本校では開校50年目を迎えたが、地域の皆さんへの感謝の心を再認識するとともに、保護者や地域の皆さん、関係諸機関のお力添えをいただきながら、生徒一人一人のよりよき成長のために全教職員が心を一つにして力を尽くしていきます。

進取果敢の精神で、未来を拓く力を育む

本校では、令和8年度より学校教育目標を新たに「進取果敢(自ら学び、挑み、未来を拓く生徒)」と定めました。自ら課題を見出し、仲間とともに挑戦しながら未来を切り拓く力を育むことをめざしています。

その実現に向け、「藤中ビジョン」として三つの柱を掲げていきます。すなわち、「知(博学篤志)自ら学びを深め、考え、判断する力」、「徳(協働共創)他者を尊重し、ともに新たな価値を創る力」、「体(勇往邁進)たくましく、目標に挑み続ける力」です。知・徳・体の調和のとれた成長を通して、生徒一人一人の可能性を最大限に引き出します。

今後も「チーム藤中」を合言葉に、家庭・地域との連携を一層深めながら、生徒が自らの夢や目標に向かって力強く歩んでいけるよう支援していきます。

写真：三芳中学校の伝統芸能発表会